

郁代様の 問題解決能力の問題



illustration : sakuma kana

郁 代様(89歳)は江戸時代の
昔には福井県の一地方全
体を支配しておられた名家
のお家柄なのでございます。

郁代様は難産でお生まれに
なりましたもので、その時の
処置が悪かったのかと想い
ます。大正時代の田舎のこと

でございますからよくは解り
ませんが、その後お母様には
お子がお出来にならなくなり、
そのため、一人お嬢様として
お育ちでございましたので、
多少我儘でおられたのかと存
じます。

で東大を御卒業の立派な方を
婿養子に迎えられ、間もなく
お嬢様との間にお嬢様がお誕
生になりました。

喜ばれるお幸せな御家族でい
らっしゃいました。

立の有名小学校へ入学させる
ために幼いお嬢様に家庭教師
をお付けになり、受験の準備
をされて入学試験にのぞまれ
ました。入学試験は無事に合
格され、サテ今度は入学の手
続きでございます。

「これは何ですか!!」
とつめ寄り、お嬢様の銀行口
座から御取引先の株券、勤務
先のお給料まで全てを差し押
さえられ、社会生活が営めな
いようにと徹底的に処置をさ
れたのでございます。見事な
ものでございました。

お嬢様はビククリされ、多
分良家の御息でしたから精
神的にはお強くなかったので
ございましょう、あまりの衝
撃に頭脳がこわれて現代流の
認知症のような状態になられ
たのでございます。

は外部の道路が見えます。高
級住宅地ですからあまり人通
りがありませんが、それでも
時々通行する自転車や歩行者
がおられます。

アツ!!という間に終わらせて
帰りますので、話しかけるこ
ともできません。

なるのは自然の法則ですか
ら感謝する必要などないこと
と、当然考えておられるはず
です。

「ハイ!!固定資産税です。お支
払いください」と請求されれ
ば良いことで、それが色々な
事情でできないのであれば、
郁代様が御負担になることで
円満が保持されるのですから
充分に役立っておりますので
す。

心頭に発して、
サア大変!! 郁代様は怒り
ます。

この高窓が唯一の外部との
接点ですから、ちよつと歩い
てはこの高窓のところに戻り
通行人を待つという毎日を繰
り返されておられました。郁
代様は気づいておられませ
んでしたが、誰かが郁代様に
このことを報告されたのかと存
じます。郁代様は大層御立腹
になり、「ミットモナイ!!」と、
都下の遠い処にある病院にお
預けになり、その病院で2年
ほどお世話になり、そのまま
御夫君は御他界になりました。

孤独に耐える事なのよネ!!」
と云われます。が、郁代様は表
現はなされませんが常時不満
な気持ちがある中でジクジク
しておられるようでございま
した。

人間は誰でも裸で生れてき
ます。

外務大臣の問題解決能力も
郁代様の問題解決能力も甲乙
つけ難い重要性があるとお考
えただければよろしいので
はないかと申し上げたのでご
ざいます。

身体的にはお丈夫ですから
家中を自由に歩かれますがオ
ムツです。これは寝たきりよ
りもちよつと大変だと想いま
す。

郁代様も80歳を過ぎる頃か
ら体調がお悪くなり、酸素ボ
ンベに連がれて、トイレと
ベッドを往復するだけで外出
は車椅子の生活になられまし
た。

一番は隣家に住む娘の婿殿
です。隣の建物は一人娘が結
婚の際、その新居として郁代
様が婿殿に贈られたものです。
しかし今日に至るまで、固定
資産税をも郁代様が支払い続
けておられますのに、一度も
感謝の言葉がありませんこと
です。

高齢になっても子供や若い
他人に頼らずに、身軽に生活
することを心がけて自分のこ
とは最後まで自分で処理する
ことこそ、少子化時代の高齢
者の定めでございます。

郁代様は「外務大臣とは違
うわ!!」とお答えになりました
が、本当に同じなのでござ
います。同じだとお解りにな
らない処が問題なのだ、私
は思うのでございます。

戸締りはシッカリされてお
られますから外部には出られ
ませんが、お勝手の高窓から

お掃除は、専門のヘルパー
さんが毎週やって来まして、
サッサ、サッサとお掃除を

しかしお嬢様の立場に立て
ば、一人娘さんと結婚をした
のです。間もなく郁代様の動
産も不動産も全部自分のもの

岩城祐子
大正13年栃木県生まれ、昭和54年に都市型有料老人ホームの先
駆けとなる施設を開設、平成13年に特別擁護老人ホームを、平成
18年に高齢者長期滞在型ホテルを開設、独特の語り口調が特徴
で、著書多数。